

「関西ダイアログ2024」を3月19日に開催します！

～若い方々から対話を通じて一緒に考えます～

これからの時代を担う若い世代が、関西での将来の暮らし方や働き方、地域のあり方についてどのような不安を抱き、どのような未来を期待しているのか一緒に対話し、関西の国土づくりのビジョンを考える「関西ダイアログ2024」を開催します。報道機関に限り公開で行います。

概要 ※詳細は、添付資料をご覧ください

① 開催日時: 令和6年3月19日(火) 15時～17時

② 開催場所: 近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1F 共用会議室1
大阪府中央区大手前3丁目1-41

③ 概要: 近畿地方整備局・近畿運輸局では、総合的かつ長期的な国土のあり方を示す国土形成計画「新たな関西広域地方計画」について、検討をおこなっています。新たな関西広域地方計画の検討にあたって、これからの時代を担う若い世代が参加し、関西の将来について、対話を通じて一緒に考える「関西ダイアログ2024」を開催します。
対話のテーマは、「関西の好きなおところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。」「これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。」の2つです。

※プレゼンステージは、後日 YouTube にて半年間限定で配信を予定しております。

※イベント当日は、近畿圏広域地方計画有識者会議で座長、座長代理を務めていただいている京都大学経営管理大学院 小林潔司特任教授、大阪公立大学研究推進機構 橋爪紳也特別教授にご参加いただく予定です。

④ 取材等について:

- ・報道関係者で会場での取材・傍聴を希望される方は3月15日(金)12:00までに別紙申込書をご確認の上、電子メール(kkk-kinkisuishin-madoguti@gxb.mlit.go.jp)にてお申し込みください。
- ・イベント中の撮影等は可能ですが、参加者の対話や進行の妨げとならないようお願いいたします。ご協力いただけない場合は退室いただく場合がございます。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 近畿圏広域地方計画推進室

近畿地方整備局 企画部 事業調整官 高橋 雅樹 (たかはし まさき)

企画部 広域計画課長 大國 喜郎 (おおくに よしろう)

TEL: 06-6942-4090(直通)

別紙申込書

【写真や映像(ビデオ)等の撮影について】

・イベント中の撮影等は可能ですが、参加者の対話や進行の妨げとならないようお願いいたします。ご協力いただけない場合は退室いただく場合がございます。

【入場時の注意事項】

・会場へ入場の際、1階受付で来庁者受付票へのご記入は不要です。直接会場へご来場ください。

傍聴を希望される方は、3月15日(金)12時までに電子メールにて事前申込みをお願いします。

◆電子メールによる場合 メール本文に

- ①会社名
- ②担当者氏名(ふりがな)
- ③連絡先電話番号
- ④同行者氏名(ふりがな)

記載の上、近畿圏広域地方計画推進室 (kkk-kinkisuishin-madoguti@gxb.mlit.go.jp)までご送付ください。

会場：近畿地方整備局 大手前合同庁舎 1階共用会議室 1

開場時刻：14:30 開始・終了時刻：15:00～17:00
(14:50までに会議室へお越しください)

庁舎の住所：大阪市中央区大手前三丁目1番41号

アクセス：大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目駅」下車

1A出口より徒歩5分

1B出口より徒歩5分



北改札を出てください。
・正面玄関へは1-B出口へ。
・西玄関へは1-A出口へ。
(1-Aへ進まれる場合は、
①に注意してください。)



谷町四丁目駅
1A出口より

- 国土形成計画 関西広域地方計画は、都市・地域や交通、産業、環境、防災・減災など人々の生活に関わる幅広い分野について、国土の将来ビジョンを描き、その実現を推進するためのグランド・デザインです。
- 現在、国土交通省近畿地方整備局・近畿運輸局では2050年を見据え、総合的かつ長期的な国土のあり方を示す新たな国土形成計画 関西広域地方計画の検討を進めています。
- 関西ダイアログ2024は、将来の関西の主役となる若者同士でこれからの関西にどのような不安を持っているか、どういう関西にしていきたいか、期待や想像していることを若者の視点で対話していただきます。
- 「議論」や「討論」ではないため、自分たちの意見を固める必要はなく、「Dialog = 対話」によって新たな気づきや発見を見出し、意見を形成するイベントです。
- 対話テーマは、「関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。」「これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。」の2つです。

<国土形成計画が対象とする分野の例>

都市・地域、交通、産業、環境、
防災・減災、国土強靱化、暮らし、文化、観光、情報通信など



<本イベントの対話のテーマ>

① 関西の好きなところ、改善して欲しいところ、他の圏域と比べて関西が優れているところ、逆に劣っているところは何か。

キーワード:

#観光 #交通 #暮らし
#地域環境 #産業
#文化、教育 #格差

② これから関西に住み続けるにあたって必要なことは何か。

キーワード:

#防災・減災
#まちづくり #デジタル

イベント当日

全体の流れについて(5分)

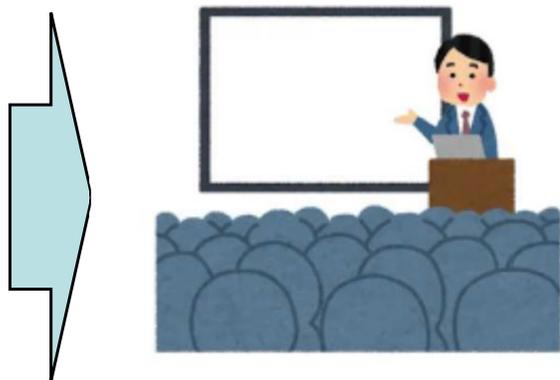


対話ステージ(65分)
(自己紹介5分+テーマ①25分+
テーマ②25分+プレゼン準備10分)



約5人ずつの
グループで対話

プレゼンステージ(30分) ※



- ・各グループの司会・進行は公募の中から予め選出
- ・プレゼン者、記録係は当日グループの中から選出
- ・若手国交省職員が各班に1名ずつ配置

ラスト対話(15分) ※

時間が許す限り自由に発言
(1回につき、2分以内)

まとめ(5分) ※

主催者から「ま
とめ」と今後の
シンポジウムの
説明

各グループで議論した課題や方向性を
3分以内のショートプレゼン×6グループ(=18分)
プレゼンの後、他グループから質問(12分)

※ 後日、YouTubeにて配信を予定しております。(半年間公開予定)